こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 371-9164 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp

２０２１年７月２５日

「サービスと負担の均衡」論は、公的な権利・義務関係の変質へ
＝自治体のあり方が問われている＝
もっともらしい市の言い方にダマされてはならない

市の「行財政改革計画案」に、「市民が受けるサービスの水準と市民負担の水準との均衡が原則」と書かれています。これについて井上議員に聞きました。

※ ※

Ｑ「均衡が原則」とは？

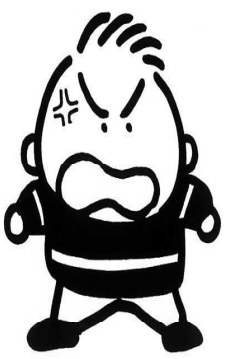
●井上議員＝①住民票をもらう時の手数料や動物園の入園料等、その場でお金を払う場合と、②一般の税金負担とを、分けて考えます。

Ｑまず別々に考える？

●②税金は様々な名目から市の財布に入り、そこから政治全般に使われるので、サービスと負担とは対応しません。市長の給料は、彼が払う税金と全然、均衡していません。

Ｑ「均衡」以前の問題ですね。①の場合は？

●①住民票の発行は全部税金で賄われ、他方、その手数料は、市全体の財布に入ります。動物園入園料も、運営費の一部のように見えますが、実際は、この住民票と同じ仕組みです。



Ｑそもそも対応も均衡もしていませんね。

●税金で賄うのが基本です。昔は住民票は無料でした。手数料や入園料は、元々は「少し負担してもらう」程度のものです。

Ｑしかし、入園料は運営費の一部に充てられているように見えますね。

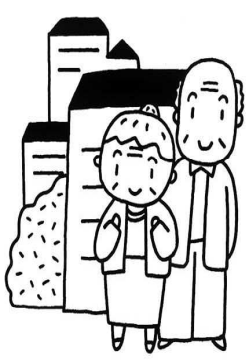
●結果としての数字をこじつけて比較し、「均衡」させる狙いです。

Ｑそうなれば、住民票や動物園も、何万円にもなりかねませんね。

●「均衡」論は値上げ以上に大問題です。サービスを受けたければそれに見合う負担をせよというのは、福祉や文化など市民の権利とそれを保障する市長の義務という公的な関係を、「お金で買う＝市場関係」に変質させようとするものです。自治体の存在意義が問われます。

三分の一以上の対象者を追い出す!?
＝敬老乗車証改悪試算＝

市長が、敬老乗車証改悪案として、三つの方向を考えています。これについて、井上議員が試算してみました。③を仮に2倍と仮定し、三点そろって改悪されるとすると、何と、現行の35％もの対象者を追い出し、予算を、現行約50億円の約４割にも及ぶ、20億円も削るという試算結果になりました。市は「試算していない。検討中」と言うだけで、詳細を明らかにしないまま、来年度の改悪への準備を進めています。



市の敬老乗車証改悪案

①交付開始年齢を、現行 70 歳以上、から 75 歳以上に
②所得 700 万円以上の市民を排除、
③交付を受ける際の、所得に応じた負担金、の値上げ

１６日、民主府市政の会南区連絡会主催、「府知事宛て署名運動スタート学習集会」が開かれました。山内府議の報告の後、京建労や民主商工会、新日本婦人の会など、各団体から発言がありました。

井上市議も、「来春知事選は、市長の『公共料金値上げ・市政リストラ』も争点になる。一方、今秋の総選挙での野党共闘前進、政権交代の実現は、市長への反撃、知事選勝利にも繋がる」と訴えました。

◎緊急小口資金・総合支援資金は８月末まで ☎ ３５４－８７４８
◎再起支援補助金は要件緩和が実現
☎ ０５７０－００３－７５６
◎時間短縮協力金は、6/1 ～/20、/21 ～ 7/11 7 分の申請受付中 ☎３６５－７７８０
◎雇用調整助成金 ☎ ２５６－８３３９
◎休業支援金☎ 0120 －２２１－２７６

日本共産党テレビ演説会
７月２５日（日）
昼２時～３時
（於）テルサ西館
３階第２会議室
（弁士）こくた恵二
衆議院議員他（画面にて）